

## 1 プログラムの名称

久留米大学産婦人科研修プログラム

## 2 研修期間

3年

## 3 募集要項

募集人員： 12名

久留米大学産婦人科専門研修プログラム管理委員会は、随時説明会等を行い、産科婦人科専攻医を募集する。

翌年度のプログラムへの応募は、10月22日より募集を開始するので、研修プログラム担当者に問い合わせを行ってもらう。

原則として書類選考および面接を行い、採否を決定して本人に文書で通知するが、翌年1月まで随時追加募集を行う。処遇は大学病院の規定に沿う。

## 4 プログラム統括責任者・指導医数

プログラム統括責任者：牛嶋 公生

小児科指導医数 15名

## 5 主な連携施設

連携施設： 聖マリア病院

国立病院機構九州医療センター

国立病院機構小倉医療センター

公立八女総合病院

JCHO久留米総合病院

社会保険田川病院

大牟田市立病院

熊本市立熊本市民病院

国立病院機構佐賀病院

済生会日田病院

蔵本ウィメンズクリニック

地域医療： 長崎県壱岐病院

## 6 プログラムの特色

久留米大学病院産婦人科を基幹施設とする専門研修プログラムでは、原則として最低6ヶ月以上は基幹施設である久留米大学附属病院産婦人科での研修を行い、産婦人科医としての基本的な診療技術、幅広い知識を習得する。2年目以降は、プログラム統括責任者と相談して、久留米大学病院産科婦人科の専門研修施設群の各施設の特徴に基づいた連携施設での研修を行う。各専門研修コースは、各専攻医の希望を考慮し、個々のプログラムの内容に対応できるような研修コースを作成する。1年目の研修を連携施設から開始し、2年目以降に基幹施設での研修をすることも可能であり、プログラム統括責任者と相談し、各専攻医と研修プログラムを決定していく。専門医取得後には、「サブスペシャリティ産婦人科医養成プログラム」として、産婦人科4領域の専門医取得を目指す臨床研修や、医学博士号取得を目指す研究活動も提示している。サブスペシャリティの修練を開始した場合、前述の連携施設では各々のサブスペシャリティの修練期間として症例数のカウントが可能である。

## 7 プログラム統括責任者から一言

産婦人科全般的な症例を、豊富に経験することができます。また、サブスペシャリティの領域も限なく研修出来ます。臨床経験と同時にリサーチマインドも培ってクリニカルクエスションも解決していきましょう。

## 8 連絡先・担当者

〒830-0011 福岡県久留米市旭町67番地

久留米大学医学部産科婦人科学教室

医局長 上妻 友隆

TEL:0942-31-7573 FAX:0942-35-0238

## 9 研修プログラムのURL

日本産科婦人科学会

<http://www.jsog.or.jp/>

久留米大学医学部産科婦人科学教室ホームページ

<http://www.kurume-gyne.com>

